

社会科

教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。
--------------	--

評価規準

《歴史的分野・公民的分野》

評価の観点	評価規準	方 法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識を身につけている。 ・諸資料を的確に読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの得点 ・授業中の発言や発表 など
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて、考察したことを分かりやすく説明したり表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの得点 ・ノートやプリントの内容 ・授業中の発言や発表 など
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加する意欲や態度 ・ノートやプリントの内容 ・授業中の発言や発表 など

使用教科書・副教材

《歴史的分野》 新しい社会 歴史 (東京書籍)	《歴史的分野》 歴史 用語ハンドブック (新学社) 歴史の学習 2・3 (浜島書店)
《公民的分野》 新しい社会 公民 (東京書籍)	《公民的分野》 公民 用語ハンドブック (新学社) 公民の学習 (浜島書店)

社会科学習へのアドバイス

①「なぜ？」を大切にし、疑問はとことん調べましょう。疑問に思うことが学びのスタートです。 ②必ず、復習を行いましょ。1度勉強しただけでは、なかなか覚えられません。授業で学んだことはその日のうちに復習するとより覚えやすくなると思います。 ③身近で起こっている出来事に目を向けましょ。社会科とつながりの深いことが多くあります。 ④とにかく問題を解いてみましょ。自身の得意・不得意など問題を解かなければ分からないことが多くあります。また、1度問題に出たものは絶対に忘れないような工夫をましょ。
--

【第3学年】標準授業時数 140 時間

	主な学習内容	主な学習のポイント
一 学 期	<p><歴史></p> <p>二度の世界大戦と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第一次世界大戦と日本 ● 大正デモクラシーの時代 ● 世界恐慌と日本の中国侵略 ● 第二次世界大戦と日本 <p>現代の日本と私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 戦後日本の出発 ● 冷戦と日本の発展 ● 新たな時代の日本と世界 <p><公民></p> <p>現代社会と私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代社会の特色と私たち ● 私たちの生活と文化 ● 現代社会の見方や考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。 ・冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことを理解する。 ・現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解する。
二 学 期	<p>個人の尊重と日本国憲法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人権と日本国憲法 ● 人権と共生社会 ● これからの人権保障 <p>現代の民主政治と社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現代の民主主義 ● 国の政治の仕組み ● 地方自治と私たち <p>私たちの暮らしと経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 消費生活と市場経済 ● 生産と労働 ● 市場経済の仕組みと金融 ● 消費生活を支える流通 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることを理解する。 ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する。 ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。 ・勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政と国民の福祉 ● これからの経済と社会 <p>地球社会と私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際社会の仕組み ● さまざまな国際問題 ● これからの地球社会と日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本の整備，公害の防止などの環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解する。 ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力などが大切であることを理解する。